

■ふじいでら さくらウォーク 4月7日(日)

前日来の低気圧がもたらした春の嵐の中での、『さくらウォーク』のスタートとなりましたが、道明寺天満宮では雨中に凜と咲き誇る「満開の鬱金さくら」、道明寺では艶やかな「七分咲きの八重桜」などを、楽しむ事が出来ました。

然しながら、さくらの名所と言われる処では今年の気の早い桜前線と春の嵐で、散り残る花はわずかでしたが、足下を気にしながらも桜の絨毯を楽しむことができました。

又、コース途上の潮音寺では年に一度の寺宝の御開帳がなされており、「仏涅槃図、三十六歌仙図」(独長禅師筆)を拝観することが出来ました。壁面一杯に掛けられた涅槃図の大きさや、鮮やかな色彩は想像を遥かに超えており、西方浄土を向いておられるお釈迦様のお姿など、あまりの見事さに目を瞠り深い感銘を受けました。

早朝よりの強風と雨による手荒い歓迎を受けた一日でしたが、ウォークの終わりには、お疲れ様でしたとばかりに青空も覗き、有意義な一日を過ごす事が出来ました。

ご参加いただいた皆様およびスタッフの皆様、有難うございました。

この催しは地域の観光ボランティア団体(NPO 法人フィールドミュージアムトーク史遊会、柏原郷土史を探る会、当会)が毎年開く春のウォークです。今年は当会が担当しました。



なごりの桜を背景に寝牛のガイド 潮音寺の涅槃図(事前に許可を得て撮影しました)